

友の会・星川

春のバス旅行

金運パワースポット「長福寿寺」と 袖ヶ浦公園「花菖蒲鑑賞」の旅

6月6日、天候が心配でしたが薄曇りで当面雨の心配はなく一安心。参加者63人は横浜駅東口・崎陽軒前に集まり、出発前に見送りにきてくれた長谷川支店長からの挨拶・見送りを受け、8時05分にバスは出発しました。

バスは首都高東神奈川ICからアクアライン経由で、最

初の目的地・袖ヶ浦公園（花菖蒲）を目指しましたが、首都高大師橋の架け替え工事の影響で10分程度の遅れがありましたが無事到着。

園内では花菖蒲まつりが開かれており、薄紫や黄色、白の可憐な花菖蒲が咲き誇り優美な花形と風情な魅力を楽しみました。また、サーピス精神旺盛な江ノ新

旅行の谷津社長が花摘み娘に扮して登場し、参加者は記念写真を撮っていました。

続いて、金運増大！長福寿寺へと向かいました。同寺は、テレビ等でも「願いが叶う・幸せを呼ぶ・吉ゾウくんのお寺・長福寺。吉ゾウくんの足を撫でて、願いを叶えよう！幸せになろう」と紹介され、御利益を得ようと参加者も吉ゾウくんの足を撫で、お参りをしていました。

その後、昼食会場のある一宮シーサイドオオツカで里の

中央ろうきん友の会
星川支部
横浜市保土ヶ谷区
川辺町4-6
発行責任者 芦沢春樹

TEL 331-1551

袖ヶ浦公園 一号車



二号車



長福寺

一号車



二号車



谷津社長の七変化



枇杷帽子姿



大仏姿



花摘み娘姿

幸・海の幸を盛り合わせた花はな膳に舌つづみ。また、谷津社長による昼食時の楽しみ「特別ゲスト」として誰が登場するのかと心待ちしている。と、全身金色の大仏様が現れみんなに愛嬌を振りまき参加者も大いに盛り上がりました。

昼食後は、御宿・月の沙漠記念公園の中にある月の沙漠記念像を車窓より見学（童謡『月の沙漠』の中で登場するラクダに乗る姫と王子の像）。その後は、カステラ工房「ルーシェイア」（ポルトガル語・満月）へ、店内へ入るとカツプの中に3種類のカステラの試食。昼食後間もないが皆べろりとしたいただき、店内でお土産を探していました。

続いて、君津・はちみつ工房へ。ここでは専用ワイナリーでつくられた「ミード」（人類最古のお酒と言われ、はちみつと水だけで造る醸造酒）を、見て、聞いて、嗅いで、触れて、味わう、おいしさや魅力を五感で楽しめる施設が売りです。試飲してみると、度数は10度程度だが、はちみつ原料の違いで様々な香り味わいで美味でした。

そして最終目的地、道の駅とみうら「枇杷倶楽部」では、特産の「房州びわ」を使用した、たくさんのオリジナル商品が取り揃えられ、また、隣接する南房総市和田町は捕鯨基地であることから、鯨製品や千葉県産の地酒などがあります。買い物を終えバスに戻ると、完熟びわ6粒が積み込まれておりお土産として配られました。

予定した見学は全て終了し、帰りの車内で行う恒例のビンゴゲームを楽しみ、横浜駅西口に無事に到着することができました。横浜に向かう途中から雨が降り出しましたが、参加者は、旅行支援クーポン2,000円分があったため、普段より多くの買い物となり、お土産を手に家路へと向かいました。